

東北6県 高校生新聞 キラリふるさと

発行所 読売新聞東京本社 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

東北の魅力 全力発信

午前7時の熱狂。仙台市中心部で早朝にライブを行い、若者たちの人気を集める男性アイドルグループがいる。「青春とは、何にでも全力で取り組むこと。自分たちも、そうありたい」。真っすぐなまなざしで語る彼らの名前は「ぜんりよくボーイズ」。

早朝ライブは、夕方では来られない学生や社会人のために彼らが考案した日本初の試みだ。通学・通勤前にライブを見ることで「今日も一日頑張ろう」と思えるファンがたくさんいる。メンバーの多くは、現役の中

学生や、最近まで高校生、大学生だった若者たち。彼らが学業とアイドル活動を両立できたのは、早朝ライブのおかげでもある。会場入りは午前4時と早い。ライブを終えてから学校に行くのはとても大変だったという。それでも毎日が新鮮で、ワクワクすることが多かった。早朝ライブの後には「みんなが頑張っているから、私も頑張るね」と、ファンの人たちから元気をもらった。その声が自分たちの力になり、楽しく両立できるようになったそう。

彼らはこれからも、歌とともに、自分たちが育ってきたふるさと、東北の魅力を伝えていく。今朝もどこの街角で、彼らの「全力」の歌声が響いているはずだ。
(宮城県石巻高校 村松鈴音)



「夢を諦めないで」と口をそろえるメンバー。(前列左から)遠藤大斗さん、大平心さん(後列左から)保土原孝成さん、森崎太さん、三浦大輝さん、小松笙さん(仙台市青葉区の錦町公園で)

ぜんりよくボーイズ

仙台のテレビ局などが企画したオーディションで2016年に誕生。メンバーは全員、宮城県出身。18年4月に始めた早朝ライブが人

仙台発アイドル

PIT(約1400人収容)公演は満員に。早朝ライブは、仙台市青葉区一番町のライブハウス「仙台darwin」で定期的に開催中。午前7時開演。入場料500円(税込み)。詳しくは、HP(<http://www.zenrvoku>)

6

東北地方ならではの発信する「キラリふるさと」を、2回目を迎える。記者たちは、彼らの活躍を見て、青森県代官の流し踊る地元の人や漫画家など岩手を取り上げ、宮城県の開幕する現象に震える人々、田島の能林の魅力を伝えています。

2 青森・七戸高

3 岩手・盛岡商高

4 宮城・石巻高

5 秋田・能代高

6 山形・山形西高